

領域プロジェクト名称	ロバスト又はレジリエントなサプライチェーンの設計
担当教員	坂田一郎教授
プロジェクトの狙い	<p>東日本大震災において、企業間取引が多数寸断され、想像を超えた規模の生産停滞が発生しがたことを受けて、企業間のサプライチェーンのロバストネス（頑健性）やレジリアンス（一時的ショックからの回復力）の重要性が社会、企業において強く認識された。そこで、サプライチェーンのネットワーク構造、取引先の地域的分散等の視点から、災害等に対して強いサプライチェーンの設計を考える。</p> <p>また、プロジェクトを通じて、データサイエンス（数学、ネットワーク分析、最適化等）の手法について、実践的な学習を行い、理解を深める。</p>
プロジェクトの内容	<p>研究室が保有する企業属性及び企業間取引の実ビッグデータ（数万件規模）を用いて、実際の企業間ネットワーク構造分析を行う。また、例えば、当該ネットワークに仮想的な各種のショックを与えること等により、その頑健性等について検討する。企業取引に詳しい帝国データバンク社や経済産業省等へのヒアリング調査も実施する。</p>
プロジェクト開催場所	工学3号館オフィス（201号～203号室他）
プロジェクト計画	<p>週1～2回程度のミーティング（うち1回は定例曜日）をベースとして、研究を進めます。複数分野の専門教員（ウェブ・人工知能、経済学、イノベーション学、エネルギー）等の参加を得てチームで企画を練りつつ、学生が独自の提案・提言をしていくことを目指します。プロジェクト設計と基礎的技法の追加学習、データ解析、結果評価・考察の順でプロジェクトを進めます。</p>
ホームページ	<p>http://ipr-ctr.t.u-tokyo.ac.jp/sklab/member.html （技術経営戦略学専攻 坂田・森研究室）</p>